

令和元年度 三田市人権を考える会  
ラブピース4コマまんがコンテスト  
優秀賞作品

『いじめの根っこ』

長坂中学校1年(前年度)  
小林 咲凜 さん



「場とつながりの研究センター」～子どもたちの成長を願って～

三田町にある「三田じばやん倶楽部」で放課後学習支援「三田まちの寺子屋『まなびあ』」を毎週水曜日と金曜日に開催しています。小学生から高校生までの子どもたちが、地域住民・大学生のボランティアスタッフと一緒に学校の宿題や試験勉強、みんなで遊べるゲームなどを行っています。

活動のきっかけは、ボランティア活動に参加していたある高校生の、「不登校だった中学校時代の学び直しをしたい」という『つぶやき』でした。始めた頃は、勉強を教えることが中心でしたが、孤独を感じている子どももいることに気がつき、「関わりの密度を濃くすること」と「子どもたち同士で学びあうこと」を大切に取り組んでいます。

私たちは、子どもたちが家庭や学校の他に「第3の居場所」を持つことの大切さを実感しています。第3の場では、家庭や学校とは異なる新しい役割があり、親や先生以外の「安心できる大人」との出会いもあります。さまざまな大人や子どもたち同士の関わりを通して得られる経験が、子どもの変化や成長を促すと考えています。子どもの意欲を高めるために悩むこともありま



▲学習支援の様子

すが、時間をかけて関わることで子どもの成長が感じられ、やりがいを感じます。

子どもたちの『つぶやき』を拾ってくれる地域の人たちは、子どもたちの心に「ばんそうこうを貼る」役割を自然と担っています。子どもたちが歩いていける距離に、そのような人と出える居場所がいくつもできればと願っています。子どもたちのために何かやりたいと考えている人とつながり、子どもたちの声を大切にしながら、「新しいチャレンジをしたい」という子どもたちの意欲の芽生えを共に支えていきたいです。



▲ゲーム遊びの様子

編集後記

人権に関わる課題は、遠くにあるものではありません。日々の生活の中のすぐ側にあります。その課題に気づく力をつけるためには、人権について学び続けようとするのが大切です。今回紹介した4グループは、三田市人権を考える会の「結」サポートを利用し活動している団体です。三田市人権を考える会では「結」サポート事業をはじめ、下記をサポート事業がありますので、ぜひご利用ください。

学 サポート事業

人権に関する学習の経費の半額(上限3万円)を補助。(対象:三田市人権を考える会加盟組織など)

達 サポート事業

人権に関する施設などの視察・交流学习の経費の半額(上限5万円)を補助。(対象:三田市人権を考える会加盟組織など)

人権啓発「企画講座」サポート事業

自らが企画・運営する講座の運営にかかる経費の全額(上限5万円)を補助。

結 サポート事業

市内で活動する人権にかかる自主グループの学習活動を積極的に支援し、活動にかかる経費の一部を補助。

《補助対象費用》

講師料、バスレンタル料、交通費、印刷代、入館料、消耗品費など  
※補助の対象とならない費用がありますので、事前に事務局に確認してください。

《補助金額》

活動経費の半額(上限3万円)

※グループの登録申請が必要です。

※4つの人権グループおよび、各サポート事業についての詳細は、5面下の人権推進課(三田市人権を考える会事務局)までお問い合わせください。



人とのつながりと温かさを感じて

本庄地域の取り組みから

本庄小学校PTA(前年度) 藤本 幸宏 さん

地域の温かさに触れて

私はこの本庄地域に引っ越してきて、今年で5年目になります。出身は他市のため、ここに来たころは、近所のことでも全くわからず、知っているのは妻の家族だけでした。子どもが幼稚園に入園してからは、本庄幼小育友会の活動に関わらせていただくようになり、縁あって昨年度は会長をさせていただきました。

土地勘もなく、これまでの流れや地域の伝統行事もよく知らない中、最初は不安もありましたが、地域での会合や活動に快く迎えて入れてもらい、アドバイスをいただいたり、優しく声をかけていただいたりしました。関わってくださった方々にご迷惑なこともあったと思うのですが、本庄地域の温かさに触れて毎日を過ごしています。

自然と共に

私の子どもたちも、のびのびと生活しています。ある日、雑木の後始末をしていると、子どもたちが「お父さん、なんか聞こえる!」と叫び出しました。子どもたちはじつと耳を澄ませてもらいましたが、やがて「キツキツや!」と叫びます。その声に負けず、林の中から「コンコンコン、コンコンコン」と音が聞こえてきました。子どもたちは「お父さん、あれキツツキが家つくってんねんで!」と得意そうに教えてくれました。

春にはいろいろな種類の草花を摘んでおまます。田植えの手伝い、オタマジャクシやメダカとり。夏には

心豊かな子どもたちに

このように、本庄地域は「自然」と「コミュニケーション」にあふれる地域です。「あの子はどこの子やで」とか「あの人はどこのおじいちゃんやで」という会話が自然と地域の中でできたり、自然の中で体を動かして遊べたりします。このような環境で生活していると、心は豊かになります。私は子どもたちが、心豊かに育つ土壌のある本庄地域に住み、生きていけることを心の底から自慢したいです。

地域の思いと私の思い

本庄地域は市内でも少子高齢化が顕著な地域ですが、私は子どもたちを守り育てていこうという地域の思いを引き継ぎ、活動していきたいと思っています。この地域の良さを感じさせていたいたいことに本当に感謝しています。こうした活動が「人とのつながり」を生み、「温かさ」につながり、ここで育っていく子どもたちの成長の大きな支えとなっています。

私はこれからも「つながりと温かさ」を感じられるこの地域で、本庄らしさを大切に守り育てていきたいと思っています。



人権擁護委員による定例人権相談

※新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、6月の相談窓口は中止いたします。

問い合わせ・相談希望者は、人権推進課へ(559-5148 FAX 562-1294)